

今月の特集関連本



《ジェネラリスト BOOKS》

身体診察 免許皆伝

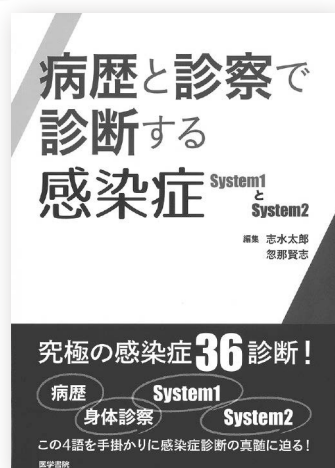
目的別フィジカルの取り方 伝授します

平島 修、志水太郎、和足孝之＝編

本体 4,200 円＋税／A5 判・248 頁／医学書院／2017

今月の特集をご企画の志水先生(p.1301・1353)と、「Trousseau 徴候」(p.1370)をご執筆の平島先生らによる身体診察の決定版！

外来・病棟・在宅で、ある疾患を疑ったら次に何をすべきか？ 臨床ですぐに使える次の一手を、こだわりの写真とともに伝授。常に便利な検査機器が身近にあるとは限らない。視て聴いて触って嗅いで、rule in / rule out できる徒手空拳の技を身につけよう。“最強の一番弟子”にならないか？



病歴と診察で診断する感染症

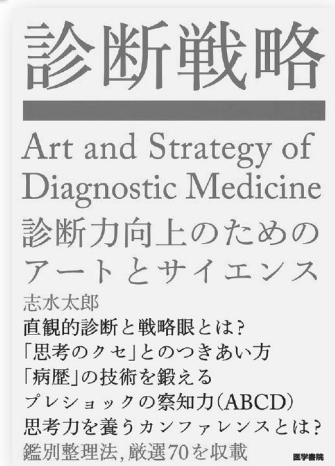
System1 と System2

志水太郎、忽那賢志＝編

本体 4,200 円＋税／B5 判・236 頁／医学書院／2018

ご企画・志水先生の身体診察関連本をもう 1 冊！

近年、感染症診断法の進歩はめざましい。しかし、検査が充実すればするほど、臨床現場では「病歴」と「診察」が軽視されているように感じなくもない。本来、感染症の診断で最も重要なのは、感染臓器・病原微生物を突きつめること。そしてこれは、病歴と診察で可能なかぎり検査前確率を高めることによってなされるべきである。「病歴」と「診察」にこだわった執筆陣による“匠の技”を伝授する。



診断戦略

診断力向上のためのアートとサイエンス

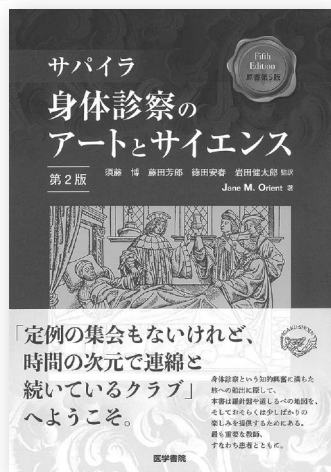
志水太郎＝著

本体 3,400 円＋税／A5 判・288 頁／医学書院／2014

そして、志水先生といえば、やっぱりこの本。「Janeway 病変」(p.1353)のなかで触れられる「Pivot and Cluster Strategy」の詳細は、こちらをご参照ください。

名医の思考や巧みさ (art) は再現できるか？ その問いに正面から答える。診断にともなうバイアスとのつきあい方、病歴をよりクリアにするための具体的な質問例、鑑別ごろ合わせなど、明日から役に立つ心がまえとテクニックが満載。認知科学とハードな臨床経験を背景に紡がれる言葉は、まさに art & science。

今月の特集関連本



サピラ 身体診察のアートとサイエンス 第2版

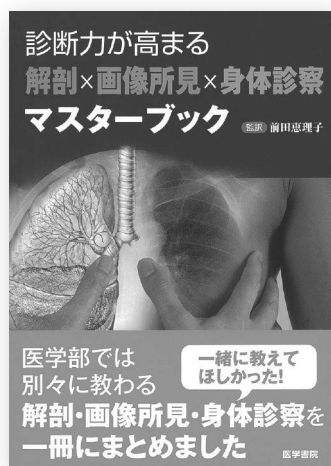
Jane M. Orient = 原著

須藤 博、藤田芳郎、徳田安春、岩田健太郎 = 監訳

本体 12,000 円 + 税 / B5 判・998 頁 / 医学書院 / 2019

身体診察のバイブルの 1 つ。待望の第 2 版が、昨年出ました。「Blumberg 徴候」(p.1325) をご執筆の徳田先生ははじめ当代きってのエキスパートたちが翻訳しています。

身体診察という知的興奮に満ちた旅への船出に際して、本書は羅針盤や道しるべの地図を、そしておそらくは少しばかりの楽しみを提供するためにある。最も重要な教師、すなわち患者とともに——。身体診察は文化の違いや時代を超えた臨床医学のアート。本書には、これらを賢く経験するための英知・箴言がぎっしり詰まっている。「記述の広さと深さは類書を圧倒している」と賛辞を集める名著。



診断力が高まる

解剖×画像所見×身体診察マスターブック

Sagar Dugani, Jeffrey E. Alfonsi, Anne M. R. Agur, Arthur F. Dalley = 編

前田恵理子 = 監訳

本体 5,800 円 + 税 / B5 判・408 頁 / 医学書院 / 2018

医学教育で分断して教えられがちな、解剖・画像所見・身体診察を有機的に統合して診断につなげる統合的アプローチを紹介。具体的な疾患をベースに豊富な情報を収載し、システムティックに診断の流れを紹介しており、極めて実践的なつくりとなっている。身体の部位ごとにまず基本知識をおさらいし、そのうえで症例をもとに統合的アプローチを学ぶという構成は、医学生・研修医にも好適。



《ジェネラリスト BOOKS》

病歴と身体所見の診断学

検査なしでここまでわかる

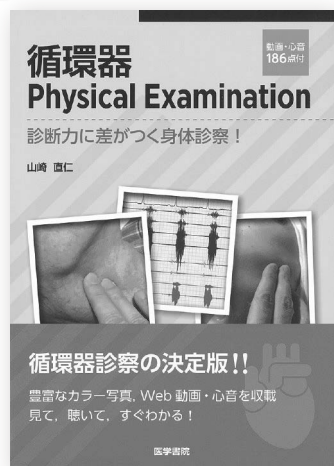
徳田安春 = 著

本体 3,600 円 + 税 / A5 判・210 頁 / 医学書院 / 2017

「Blumberg 徴候」(p.1325) をご執筆の徳田先生が(病歴と)身体所見の感度・特異度・尤度比に迫った。

病歴聴取と身体診察で得られた情報から、臨床疫学的なアプローチで、精度の高い診断を目指そう！ 本書は、症例をもとに、指導医と研修医の問答形式で感度・特異度・尤度比の使い方が学べる実践書。付録には、即戦力となる「尤度比一覧」の PDF (ダウンロード形式) を収載。五感とエビデンスのみで、いざ勝負！

今月の特集関連本



循環器 Physical Examination [動画・心音 186 点付]

診断力に差がつく身体診察！

山崎直仁＝著

本体 5,000 円＋税／B5 判・188 頁／医学書院／2017

「Austin Flint 雑音」(p.1314) をご執筆の山崎先生が、循環器疾患の身体診察に迫った！ その異常所見を豊富なカラー写真、ウェブ動画・心音を用いて解説。実際の身体所見・心音を呈示することで、指導医にベッドサイドで循環器診察を教えてもらっている雰囲気再現。心音聴診だけでなく、視診・触診所見までをリアルに学べる、いままでにない内容となっている。循環器診察のマスターに大いに役立つ 1 冊。



新生児の正常・異常みきわめブック

正期産児 編

田中 太平＝著

本体 2,800 円＋税／B5 判・128 頁／メディカ出版／2019

「Gowers 徴候」(p.1335) をご執筆の田中先生の著書。

「赤ちゃんを見るときの意識を高める」「赤ちゃんの微細な変化を見つける眼を養う」ことが本書の目的。豊富な写真で、正常のバリエーションや異常所見、疾患を提示し、さらに、観察時の照明や確認の触診方法などポイントが丁寧に解説され、今まで見ていなかった赤ちゃんの姿が見えるようになる。その発見は楽しさと自信につながり、さらには経験の蓄積となって身についていく。



こんなときオスラー

『平静の心』を求めて

平島 修、徳田安春、山中克郎＝著

本体 2,400 円＋税／A5 判・200 頁／医学書院／2019

本特集ではオスラーはあえて取り上げませんでしたが、いつの世も先達の言葉には、今に生きる知恵が積まっています。本特集ご執筆の平島先生 (p.1370)・徳田先生 (p.1325) と、山中克郎先生という経験豊富な 3 人のジェネラリストが、没後 100 年を経てなお輝きを失わない『平静の心 (Aequanimitas)』をひもときました。

医師はより複雑化する日々の臨床のなかで、患者・医療スタッフとの間で、また勉強法や進むべき進路について、多くの悩みを抱えている。「こんなときどうすればよいのか？ どう考えればよいのか？」という医師の悩みに、オスラーの哲学やパールを用いながら答えた。